

令和5年12月15日

太田市議会議長 矢部 伸幸 様

太田クラブ 代表 白石 さと子

会派行視察報告書

1 期 日 令和5年10月25日（水）から26日（木）までの2日間

2 視察地 福岡県北九州市（西日本総合展示場）
「第18回市議会全国議長会研究フォーラム」

3 視察事項 「第18回市議会全国議長会研究フォーラム」参加

4 参加者 7名

白石 さと子	町田 正行	大川 敬道	渡辺 謙一郎
木村 浩明	神谷 大輔	山水 めぐみ	

5 視察概要 別紙のとおり

目的 毎年開催され、かつ全国から多くの市議会議員が参加される「第18回市議会全国議長会研究フォーラム」へ参加し、全国の地方議会の諸課題を研究するため

概要及び所管

令和5年10月25日（水）

◆ 基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」

片山 善博氏 [大正大学教授兼地域構想研究所長]

自治省出身で鳥取県知事、その後慶応大学教授をへて総務大臣を勤められた講演者の片山善博氏は、その歯に衣着せぬ言動等により誰もが知る論客である。特に鳥取県知事在任中には武勇伝も多く、多くのファンのいる方である。それだけに、この基調講演を聴くだけでも価値があるとの思いを込め、参加させていただきました。内容としては

- ① 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する
- ② 日本の地方議会に欠けていることは何か
- ③ 現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべき事
- ④ 議会の常識と市民の常識をすり合わせるにはどうすればよいか

など具体的かつ目新しい内容であった。

苦言として講演者が言っていたことの一つに、現在の地方議会では、一般質問等の質問をするときに、事前にすり合わせをする事が多い。市民から見れば、議場での討論しか見えないのでそれが全てである。出来れば事前のすり合わせはしない方が良いと言うことが上げられた。資料等を準備してもらうためには、質問内容を事前に伝えておいた方が多いが多いが、それでは、真剣な討論にならないという。細かな数字等前もって準備が必要な場合を除き、すりあわせ無しの質問も良い面があり議員と市長や執行者である市職員とのやりとりがわかるので市民にとっては分かりやすいであろう。

それから、市民に税負担を求める様な議論はほとんど行われていない。必要ならば、議員の側から増税をするとの提案があっても良いとの提言があった。

また、提案された予算は、もっと修正要求があっても良い。など全体的に、聞き応えがあり、かつ議員にとっては耳の痛い講演であった。

◆ パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

- ・ コーディネーター

谷 隆徳氏 [日本経済新聞編集委員]

- ・ パネリスト

勢一 智子氏 [西南学院大学法学部教授]
辻 陽 氏 [近畿大学法学部教授]
濱田 真理氏 [Stand by Women 代表
女性議員のハラスメント相談センター共同代表]
田仲 常郎氏 [北九州市議会議長]

本年4月にあった、統一地方選挙を振り返り検証するという内容で始まりました。年代別投票率など細かなデータが見せられました。投票率が低くなっておりさらには、無投票選挙も増えている現状をどう捉えるか。また、小規模自治体を中心に議員のなり手不足が問題になっている。小規模自治体では、政務調査費が少なく、何かをしようとすると自前で資金を出さなくてはならないことが多いなどの提言がされました。女性議員に対するセクハラやパワハラの現状報告があり、相談体制や意識の向上の為の研修、または、対策のためのルール作りが重要だと思いました。

令和5年10月26日(木)

◆ 課題討議 「議員の」なり手不足問題への取り組み報告」

・コーディネーター

江藤 俊昭氏 [大正大学社会共生学部公共政策学科教授]

・事例報告者

辻 弘之氏 [登別市議会議長]

たぞえ麻友氏 [一般社団法人WOMAN SHIFT理事
目黒区議会議員]

永野慶一郎氏 [枕崎市議会議長]

議員のなり手不足についての具体的な取り組みの報告がされました。女性の意見としては、住所公開が怖い、出産と選挙、議員活動が両立出来ないと言うものがあり、これに対しては、住所は、町名までに番地は非公開にする。出産や育児に対しては休暇などを取りやすいようにするなどあり、これは本市でも取り組みが始まる場所である。

北海道では、議員要請の勉強会「地方議員要請口座」を開いて、立候補の後押しをしていました。先生として、大学教授や企業経営者、現役市長、現職議員、地元住民、選挙管理委員会などで、これから議員に立候補を考えている人で無くても勉強になる内容でした。

議員との兼業兼職を禁止している自治体もあることや、議員報酬だけでは生活出来なかったり、資金の持ち出しが多い場合もあり限られた人しか立候補出来ない環境にある地域もありました。

面白い取り組みとしては、一定期間インターンとして議員の元で政治活動を体験していただき、議員になりたい方や、地域の声を届けたい方、単純にプロジェクトに関わり
たい方など具体的な政治への窓口を作るという方法でした。

今回の議員研修は、本市にも役立ちそうな事例も多く、良く考えさせられた内容のある
研修となりました。

